



UTO から宇宙へ！ 第16号

UTO Well-Being 探究Award 2024 実施 「探究で未来を創る～宇宙船地球号に乗って～」

7月23日(火)
@熊本城ホール

課題研究発表会、講演会、パネルディスカッション等を実施し、学びの多い1日となりました。

高校3年生課題研究発表会

「目指せ！UTO=海苔！」

生徒5人が海苔パウンドケーキ「ドリューさんのおやつ」を開発。ドリューさんとは、イギリスの海藻学者で、日本の海苔の養殖技術の向上に大きく貢献した方です。生徒は、毎年4月に住吉神社で行われるドリュー祭にも参加し、海苔について、ドリューさんについて学びを深めました。安達さんは、「ドリューさんは本当にすごい。これからは私たちが、UTO=海苔を、世界中の人に広めていきたい」と語っています。



講演会

「宇宙の扉を開こう - 見て 考えて そして -」

JAXA 社友 Koshoya2020 代表 柳川孝二様

グローバルパネルディスカッション

宇宙飛行士の訓練も担当した柳川さんのことば

- ★訓練の9割はオフ・ノミナル(異常事態)への対応
- ★訓練は本番のように、本番は訓練のように
- ★チームとして成果を出す
- ★地球は「淡い青い点」a pale blue dot
広大な宇宙に対して、地球は小さな点でしかない



吉野泰生さん(カリフォルニア大学サンティエゴ校)のことば

- ★人間の可能性をひろげていける研究をしたい
- ★やりたいことはやってみる
- ★やってみてできなかったらすぐやめる
- ★続けていけるものはやりたいこと
- ★楽しいと思ったら続ける

「データサイエンスとITのめざましい進歩、そしてAI万能の時代がくるのだろうか？」 理学博士 中村振一郎様

- ★新しいものを生み出す仕事、人と向き合う仕事は AI にはできない。
- ★学の原点に戻ろう ★自然知能⇔人工知能
- ★一隅を照らす。これ則ち国宝なり。(最澄)
みんなが気づかないような片隅で、社会を照らしているような人が国の宝なのです。一人の生き方や心がけは、周りにも伝わります。一人ひとりの力がやがて世の中を明るく照らすことになるのです。

生徒からは多くの質問が。「問い」を創る授業の成果が出ています。



創造・挑戦・感動の夏に！

主幹教諭 梶原

